

【調査実施日・参加者数】 令和4年4月19日（火） 小学校10校の6年生626人、中学校5校の3年生628人  
 【調査の目的】 ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る  
 ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる  
 ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

【調査結果の概要】  
**小学校**  
 国語の対全国比は、昨年度に続き全国平均と同程度、算数は昨年度に比べ大きく向上し、初めて全国平均を上回った。  
 理科は前回の調査と比べ大きく向上しているが、国語や算数に比べると全国平均と差がみられる。

**中学校**  
 国語・数学ともに対全国比は昨年度より若干低下し、全国平均との差がやや広がった。  
 理科は前回の調査と同程度となり、依然として全国平均との差が顕著にみられる。

**質問紙調査**  
 ・「日々の授業の中でICTの活用をしている」割合は、全国を大きく上回っている。  
 ・小中学校ともに、「自分にはよいところがある」と答える児童生徒の割合が令和3年度よりも増加した。  
 ・小中学校ともに、昨年度よりも「地域や社会をよくするために何をすべきか考える」「人の役に立つ人間になりたいと思う」児童生徒の割合が減少している。  
 ・小中学校ともに、昨年度に比べ、家庭学習を全くしていない割合が増加している。

【結果分析からみられる課題】  
 ・中学校の調査結果を同一集団で見ると、令和元年度（小学6年）に調査した時よりも、国語は大きく向上し、数学は若干低下している。理科では、前回調査と同じく全国平均との差がみられる。  
 ・「家庭学習を全くしていない」「30分より少ない」と答える割合が、小中学校ともに全国の割合よりも高い。

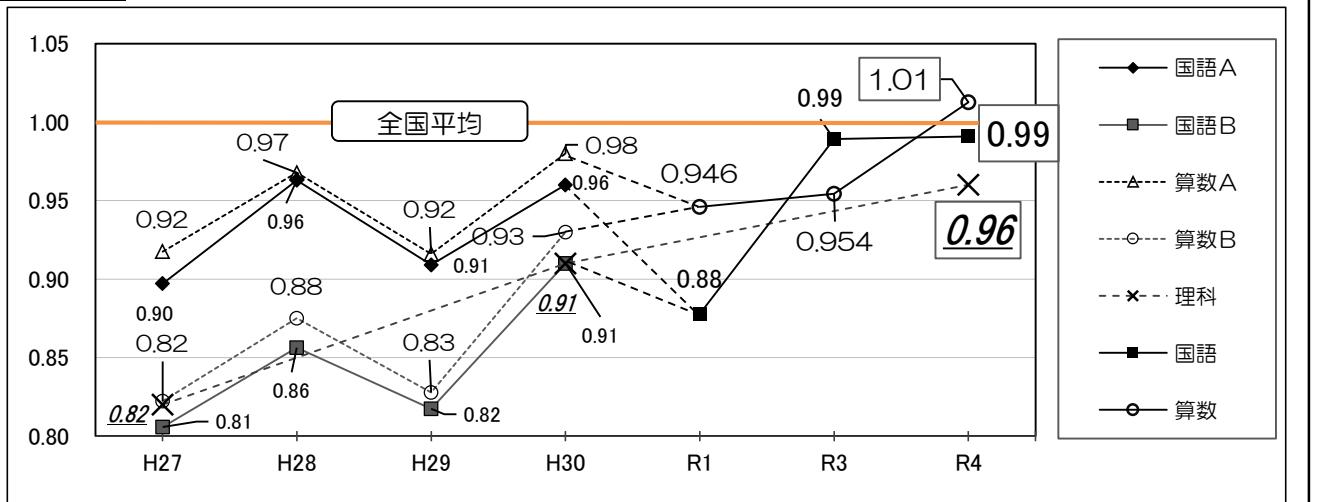
【課題解決のための方策】  
**<学校>**  
 ・日々の授業の中で、児童生徒が「読みたい」「書きたい」「伝えたい」と思うような、意欲の向上する言語活動（魅力ある言語活動）を取り入れ、組織的に主体的で対話的な授業づくりを推進させる。理科では、小中学校ともに実験や観察の機会を増やしたり、映像教材を活用したりするなどして、児童生徒の興味関心を高め、科学的に探究する力を高めていく授業づくりを推進させる。  
 ・児童生徒が安全で安心して学校生活を過ごすことができる「居場所づくり」の取組や授業、行事の中で、目標に向けた協働活動をとおして、互いを認め合うことができる「絆づくり」の取組を普及させ、各学校で児童会・生徒会活動を中心に児童生徒が学校づくりに主体的に参画できるよう指導する。

・ICTを活用するなど児童生徒の実態に合わせた個別最適な学習を行い、きめ細かく個に応じた指導や支援ができる体制を整え、実践していく。また、授業時間だけでなく、その他の時間を活用しながら、学力定着の取組を推進する。

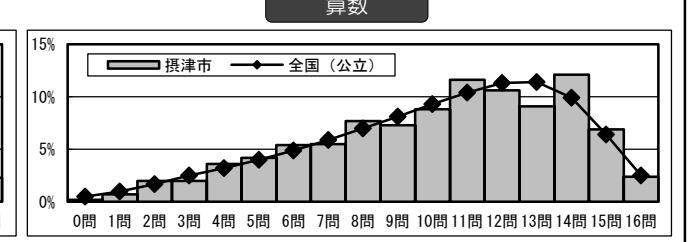
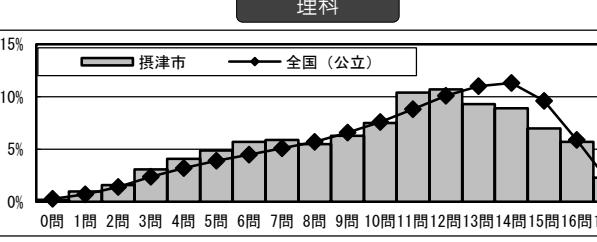
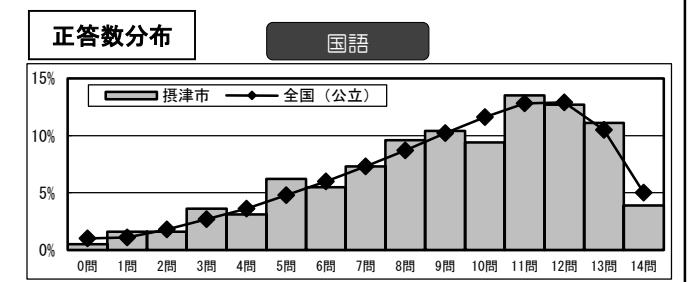
**<家庭>**  
 ・子どもが家庭でも学習する習慣を身につけるために、家庭学習の目的の理解を促し、習慣づけるための啓発をする。

**<教育委員会>**  
 ・定期的な学校訪問や指導主事を各学校に派遣することを通して、授業力向上や組織的な学力向上の取組に対し、指導助言する。  
 ・日々の指導力と同僚性の向上を図るために、相互授業参観の取組を推進する。  
 ・市内全体の児童生徒の学習意欲や、学力向上に向け、各学校に成果のみられた学校の取組を各学校に好事例として、その意義・目的とあわせて普及させる。  
 ・小中学校で理科を担当している教員を対象に授業づくり研修会を実施し、探究的な学びを重点に理科が好きな子どもを育てる。また、小学校で学力定着度調査に理科を加え、基礎基本となる知識の定着を図る。  
 ・教員研修等を通して、各学校の授業改善や発達段階に応じた家庭学習の在り方について指導する。

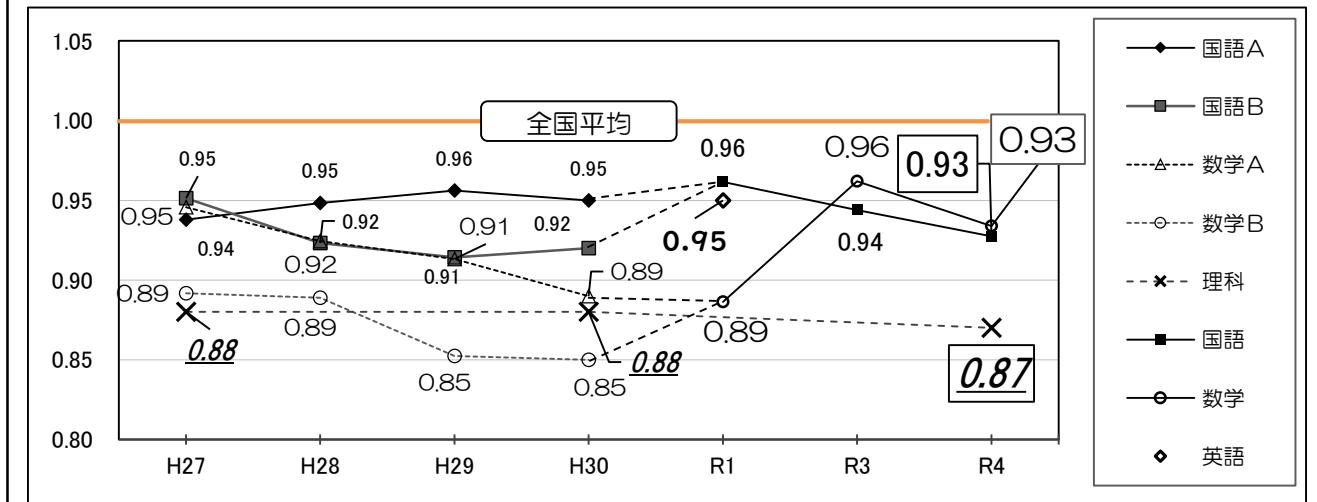
**小学校** 対全国平均比経年比較 ※対全国平均比は、全国平均の数値を1としたときの摂津市の値を表します。



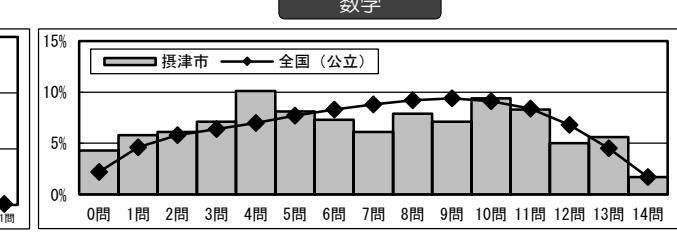
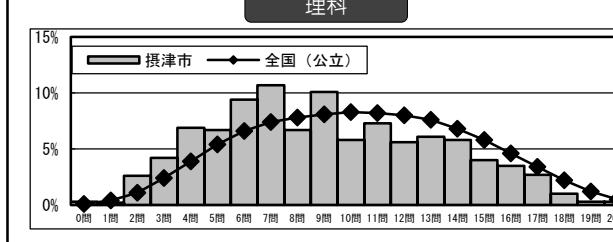
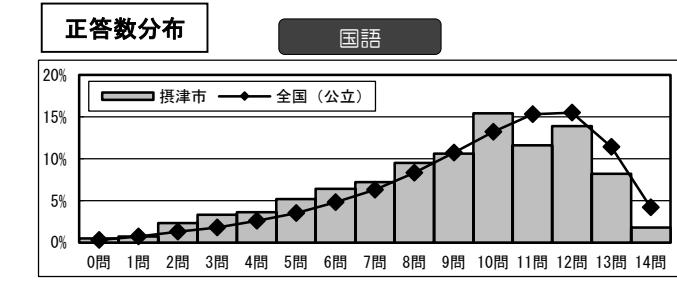
	国語	算数	理科
全国	65.6	63.2	63.3
大阪府	64.0	62.6	60.4
摂津市	65.0	64.0	61.0
対全国比	0.99	1.01	0.96



**中学校** 対全国平均比経年比較 ※対全国平均比は、全国平均の数値を1としたときの摂津市の値を表します。

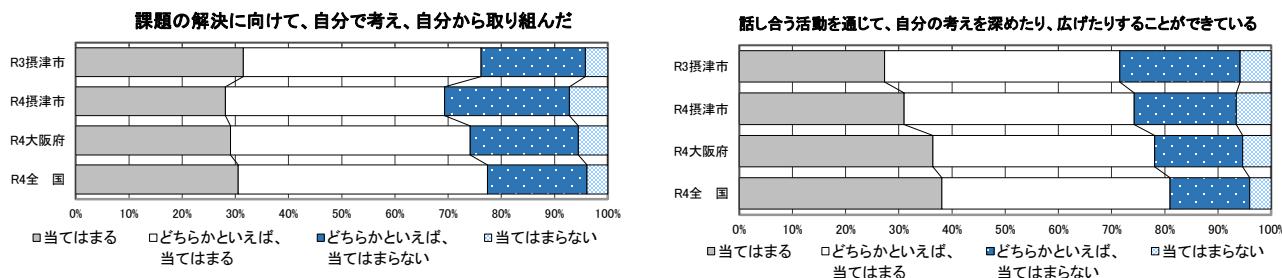


	国語	数学	理科
全国	69.0	51.4	49.3
大阪府	67.2	50.7	46.6
摂津市	64.0	48.0	43.0
対全国比	0.93	0.93	0.87

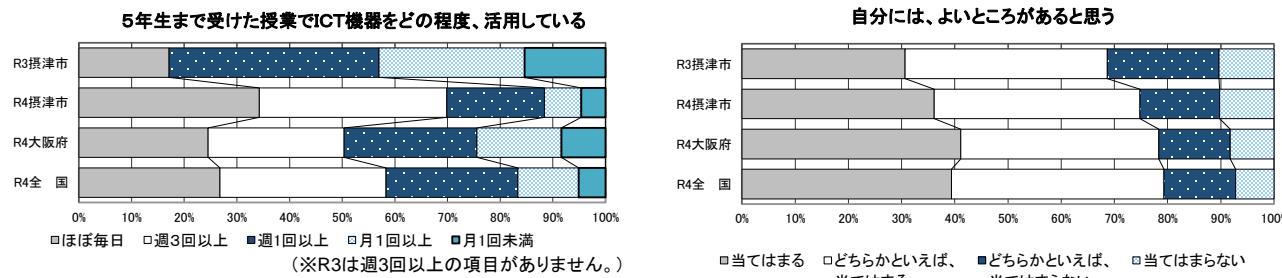


## 小学校

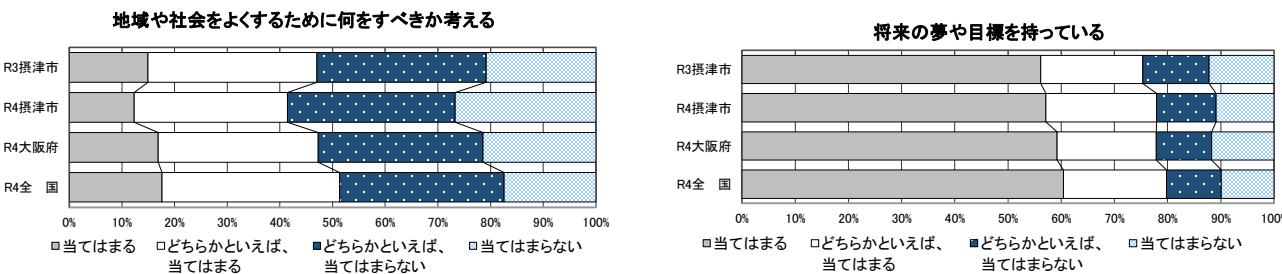
**学びに向かう姿** 「自分で考え、自分から取り組んだ児童」の肯定的割合は、令和3年度よりも減少  
「話し合う活動を通じて、深め、広げた児童」の肯定的割合は令和3年度より増加



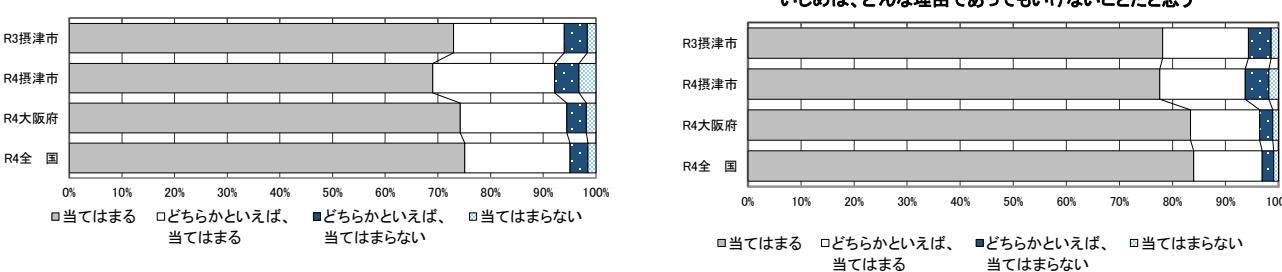
**ICT活用／自尊感情** 「授業でICT機器を活用している」の割合は、全国平均を大きく上回り、令和3年度よりも増加  
「自分にはよいところがあると思う児童」の割合は、令和3年度より増加



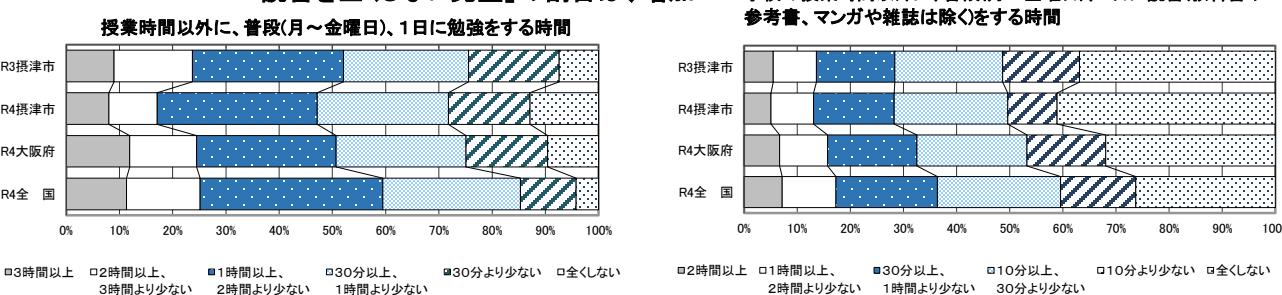
**キャリア教育** 「地域や社会をよくするために何をすべきか考える児童」の割合は、令和3年度より減少  
「将来の夢や目標を持っている児童」の割合は、令和3年度より増加



**豊かな人間性** 「人の役に立つ人間になりたいと思う児童」の強い肯定的割合は令和3年度より減少  
「人の役に立つ人間になりたいと思う

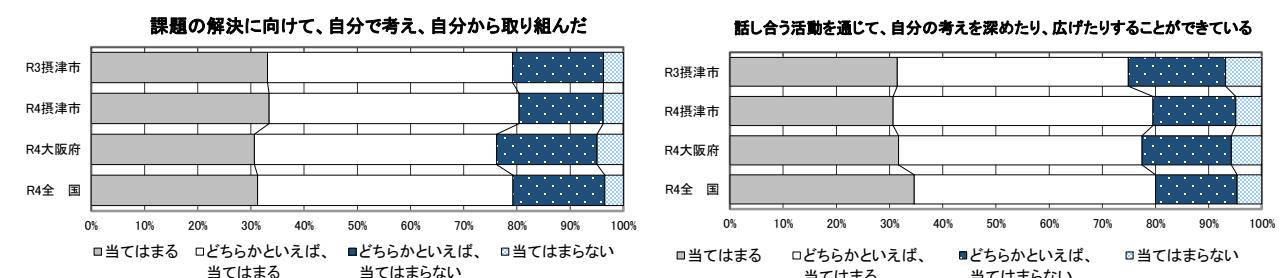


**学習習慣／読書量** 「家庭学習を全くしない児童」の割合は、令和3年度より増加  
「読書を全くしない児童」の割合は、増加

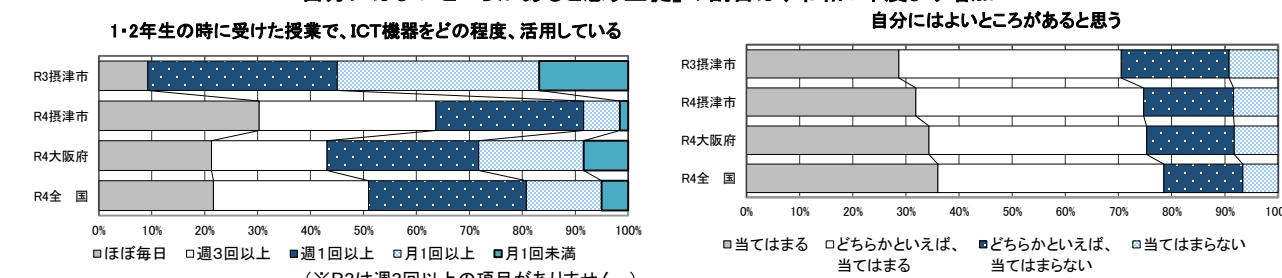


## 中学校

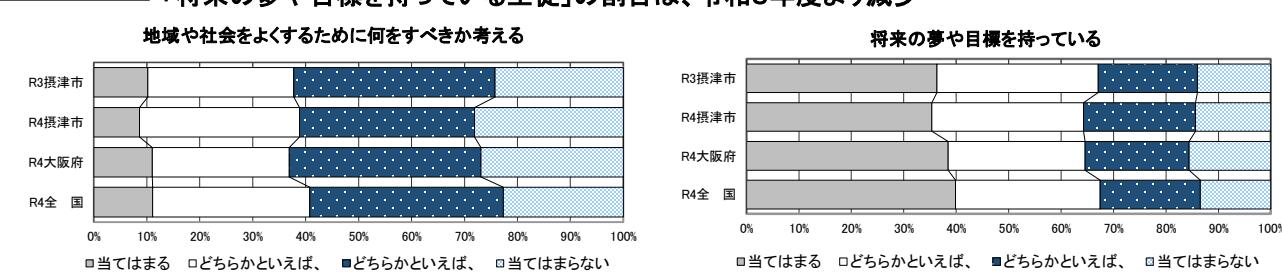
**学びに向かう姿** 「自分で考え、自分から取り組んだ生徒」、「話し合う活動を通じて、深め、広げた生徒」の割合は、共に肯定的割合が令和3年度より増加



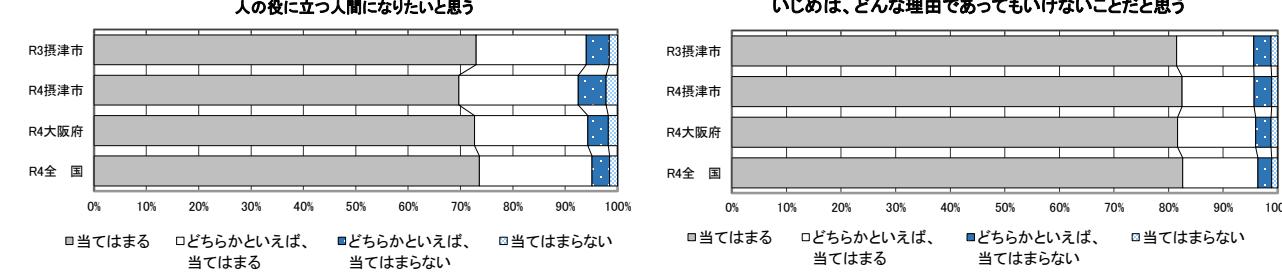
**ICT活用／自尊感情** 「授業でICT機器を活用している」の割合は、全国平均を大きく上回り、令和3年度よりも増加  
「自分にはよいところがあると思う生徒」の割合は、令和3年度より増加



**キャリア教育** 「地域や社会をよくするために何をすべきか考える生徒」の肯定的な割合は、令和3年度より増加  
「将来の夢や目標を持っている生徒」の割合は、令和3年度より減少



**豊かな人間性** 「人の役に立つ人間になりたいと思う生徒」の割合は、強い肯定的割合が令和3年度より減少  
「人の役に立つ人間になりたいと思う



**学習習慣／読書量** 「家庭学習を全くしない生徒」の割合は、令和3年度より増加  
「読書を全くしない生徒」の割合は、減少

